

## 「肺癌における ALK 融合遺伝子検索のための SureFISH 法の検討」

### に関係する患者様、ご家族の皆様方へ

昨今、遺伝子解析技術の進歩により、肺癌において ALK (Anaplastic lymphoma kinase) 融合遺伝子をはじめとする新しい遺伝子異常が相次いで発見されています。これらの遺伝子異常を有する肺癌には、分子標的治療薬の効果が高いことが基礎研究でわかっています。すでに ALK 融合遺伝子をターゲットとした分子標的治療薬が医療の現場で実際に行えるようになってきました。また、分子標的治療を行う場合には、実際のがん組織を詳細に調べ、遺伝子検査を行って標的となる分子を持っているかどうかを事前に調べるのが重要です。

当院では、「肺癌における ALK 融合遺伝子検索のための SureFISH 法の検討」という調査、研究を行っています。ALK 融合遺伝子の有無を検索するには、病理組織検体にて FISH 法 (fluorescence in situ hybridization) という手法で検出することが可能であり、本研究の目的は、ALK SureFISH 法という新しい手法の評価を行うことです。ALK 融合遺伝子の検索を的確に迅速に効率よく診断することで、今後の速やかな分子標的治療薬の治療に役立つと考えます。

#### <調査の対象となる患者さま>

2004 年・2017 年 2 月 (\*研究承認日に書き換えます) までに当院にて ALK 肺癌 (ALK 融合遺伝子陽性) と診断された患者さま

#### <調査方法>

具体的には、診療目的で作成されたカルテ上の診療情報、病理診断標本を用いて検討を行い、統計学的に解析を行います。

本研究により新たに検体採取や費用など何かをお願いすることはありません。

#### <患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外にでることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究の対象となることをお断りになりたい患者様、ご家族の方も研究代表者までご連絡ください。研究データの対象から外させていただきます。ただし、学会や学術雑誌への発表後にご連絡をいただいた場合、使用中止は出来ません。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

臨床検査科・病理診断科

笠井 孝彦

TEL:072-252-3021, FAX:072-251-1372

なお、この調査は病院外の専門家の方を含んだ近畿中央胸部疾患センター臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認をうけて実施しています。

(当院ホームページに掲載)